

回答者の政党名（所属政党）	選挙区	候補者氏名
池田ゆみ	日本共産党	豊平区
問 1-1 障害者の地域移行を進めるために必要な障害福祉サービスの充実について		
充実することが必要である		
問 1-1 の回答に関する理由や手法等に関して自由に記載してください		
<p>障がいの有無にかかわらず、誰もが当たり前に生活できる地域社会であるべきです。地域で生活するための生活支援や移動支援などの拡充や、安心できる住まいの確保など、自治体が責任をもって進めるべきと考えます。</p> <p>また、そうした支援に携わる福祉分野の職員の確保と処遇の改善にも取り組むべき。そうした施策を進める予算の確保も進めるべきです。</p>		
問 1-2 「重度障がい者に必要な在宅介護のあり方に関する意見書」を再検証し、その内容を計画的に実施することについて		
再検証して計画的に実施する		
問 1-2 の回答に関する理由や手法等に関して自由に記載してください		
検討会の提言と異なる内容であってはならないと思います。改善に向けて再検討するべきです。		
問 1-3 「重度訪問介護の非定型による支給決定等事務の手引き」の見直しについて		
見直しが必要である		
問 1-3 の回答に関する理由や手法等に関して自由に記載してください		
<p>検討会がとりまとめた意見書では、非定型に関する考え方を作成することが効果的としており、「新たな定型基準にならないようにすること」とされています。現場の声に沿った見直しが必要だと思います。</p>		
問 1-4 共同生活援助入居者が一時帰宅したときの訪問系サービスの利用について		
一定の要件のもと利用可能とする		
問 1-4 の回答に関する理由や手法等に関して自由に記載してください		
<p>帰宅時の訪問サービスが利用できなければ一時帰宅ができないことになります。国が認めたものを札幌市が認めないことは、サービスの後退です。利用出来るようにすべきと考えます。</p>		
問 1-5 「医療型障がい児入所施設・療養介護」のショートステイ利用等の緊急を要するサービスと障害者手帳の未交付にともなう利用制限について		
必要な場合は利用可能とする		
問 1-5 の回答に関する理由や手法等に関して自由に記載してください		
<p>手帳の所持を必須とするならば、緊急の保護が遅れ命にかかわる問題だと思います。必要な場合の利用は認めるべきです。</p>		
問 1-6 居宅介護（家事援助）等の業務に含まれる「育児支援」の取扱いについて		
育児支援を実施する		
問 1-6 の回答に関する理由や手法等に関して自由に記載してください		
国が認めているのに、札幌で利用できないのはおかしいと考えます。必要な場合の利用は認めるべき。		
問 1-7 障害児とその家族に対する支援について		
支援を充実する		
問 1-7 の回答に関する理由や手法等に関して自由に記載してください		
上限としている時間が足りなければ、引き上げが必要だと思います。		

問 2-1 障害の有無、種別、程度により分け隔てる特別支援教育から、障害に応じた支援を確保することで、分け隔てないインクルーシブ教育への転換を計画的に進めることについて
計画的に進める
問 2-1 の回答に関する理由や手法等に関して自由に記載してください
インクルーシブ教育の実施にはきめ細かい教室・学校運営が不可欠です。そのためには、少人数学級・小規模校の推進が必要です。札幌市が進めている学校統廃合や義務教育学校の推進は、大規模校化を促すもので、根本から見直す必要があります。教員の増員と少人数学級を進め、1クラスの定員を25人、20人へと引き下げて、環境整備を進めるべきです。
問 2-2 本人・保護者の意見の尊重と地域の普通学校への入学の可否について
入学を拒否しない
問 2-2 の回答に関する理由や手法等に関して自由に記載してください
地域の学校への入学について一律拒否はとらないことにすべき。どの普通学校であっても就学できるように、環境を整備すべきです。
問 2-3 地域の普通学校への入学にあたっての合理的配慮の公的責任による確保について
公的責任として確保する
問 2-3 の回答に関する理由や手法等に関して自由に記載してください
示されているいずれの事例も、公的責任で解消すべきことです。 すべての学校で合理的配慮が提供できるように、支援のための教員など人員の拡充や学校設備のバリアフリー化も求めます。